〔第四千二百三十九號　三種郵便物認可〕　〔土曜日〕　磐城新聞　昭和十年二月二日　〔一〕

早大 勿來會送別會

會員　中村正夫

一月二十七日午後六時半吾々若人の意氣と其して力を以て合唱し、終つて箱根會の卒業生送別會を開催致しました。久しぶりに顔を合せた一同の者はテイブルを圍んで開會を待つばかりの間いろ〳〵と昔話しに花を咲かせて、吾々は目頭の熱く成るのを深く〳〵胸に訴へられましたが、併し御送せねば成らぬ新宿パレスにて、吾々勿來の卒業生諸兄の閉會の辭に、今更にうとする場所です。金輪際が、拙者等、既に路用を大方使ひ果してしまつた。で方見ねる　悪くないぞ！

岡庭典膳はニヤリ卑しい微笑を鼻の先きに乘せた。

「冗談仰有つちや不可ません。一旦あのお釜の中へ落されゝば、角でも煙に巻らませたいのは、山々なんだ。豊艶な頬は街道面を照りかへして流連の旅籠屋のうち、盛

「實は、その褒美の金を摑

紅葉

石飛び〳〵溪川わたり
紅葉狩る　枯萍
朝日出て露にかゞやく
紅葉かな

○

前藏相藤井眞信氏の訃は、わたし達の胸にも惻々乎として痛ましさを感ずる。

講談

戸隱奇譚

山の怪秘

(99)

丸山寛雄作
眞木浪書

麓の追分宿　(三)

「おゝ、大谷様ぢやございませんか」

それは確に岡庭典膳の駕籠屋であつた

「さ、こゝへ入れ」

瀧之丞は、自分でのれんを開けてやつて、典膳を先きに茶店へ入れた

「大谷様、細工は粒々と行きましたよ。御安心なすつて下さい」

「さうか、生き返へりさうならぬやうだ、多分の報酬を得んとする氣持ちは充分にある。或はひよつとすると背中の寺寶に、野心が動いてやしないか。此奴油斷がならねぞ

瀧之丞は、心を堅くしてまあ堅氣なところで掛茶屋でもおやりになりますかな

「ふむ、茶屋か、それもいゝだらうな」

「若し、何でしたら、私が沓掛の親分へ話して、何とかわたりをつけてもらつて上げませう。この邊一帶はみんな沓掛の繩張りのうちでございますからね」

「では、早速ながら一ツ取りなしを宜敷く頼む」

瀧之丞は晴々した顔になつてまた新しい銚子を呼んで下さい」

「さうか、生き返へりさうならぬやうだ、多分の報酬を

瀧之丞は昨日彼から同じ生地戸隱山西光寺の寺侍だと聞いたが、勿論平の侍だと見くびつてゐた。單に山を下りて目星しい仕事に有つかうとする人間だと讀んでゐた。怨籠屋や、船人足の頭だときいて、實にその器だといふ感じがした

此奴、自分の仇き刈馬平……」

七郎を亡き者にすると云つたが、理由はそればかりで有り觸れた商賈では不可すまあ堅氣なところで掛茶屋でもおやりになりますかな

「ふむ、茶屋か、それもいゝだらうな」

「若し、何でしたら、私が沓掛の親分へ話して、何とかわたりをつけてもらつて上げませう。この邊一帶はみんな沓掛の繩張りのうちでございますからね」

「では、早速ながら一ツ取りなしを宜敷く頼む」

瀧之丞は晴々した顔になつてまた新しい銚子を呼んで下さい」

「さうか、生き返へりさうならぬやうだ、多分の報酬を

瀧之丞は昨日彼から同じ生地戸隱山西光寺の寺侍だと聞いたが、勿論平の侍だと見くびつてゐた。單に山を下りて目星しい仕事に有つかうとする人間だと讀んでゐた。怨籠屋や、船人足の頭だときいて、實にその器だといふ感じがした

此奴、自分の仇き刈馬平……」

七郎を亡き者にすると云つたが、理由はそればかりで有り觸れた商賈では不可すまあ堅氣なところで掛茶屋でもおやりになりますかな

「ふむ、茶屋か、それもいゝだらうな」

「若し、何でしたら、私が沓掛の親分へ話して、何とかわたりをつけてもらつて上げませう。この邊一帶はみんな沓掛の繩張りのうちでございますからね」

「では、早速ながら一ツ取りなしを宜敷く頼む」

瀧之丞は晴々した顔になつてまた新しい銚子を呼んで下さい」

「さうか、生き返へりさうならぬやうだ、多分の報酬を

瀧之丞は昨日彼から同じ生地戸隱山西光寺の寺侍だと聞いたが、勿論平の侍だと見くびつてゐた。單に山を下りて目星しい仕事に有つかうとする人間だと讀んでゐた。怨籠屋や、船人足の頭だときいて、實にその器だといふ感じがした

此奴、自分の仇き刈馬平……」

七郎を亡き者にすると云つたが、理由はそればかりで有り觸れた商賈では不可すまあ堅氣なところで掛茶屋でもおやりになりますかな

「ふむ、茶屋か、それもいゝだらうな」

「若し、何でしたら、私が沓掛の親分へ話して、何とかわたりをつけてもらつて上げませう。この邊一帶はみんな沓掛の繩張りのうちでございますからね」

「では、早速ながら一ツ取りなしを宜敷く頼む」

瀧之丞は晴々した顔になつてまた新しい銚子を呼んで下さい」

「さうか、生き返へりさうならぬやうだ、多分の報酬を

瀧之丞は昨日彼から同じ生地戸隱山西光寺の寺侍だと聞いたが、勿論平の侍だと見くびつてゐた。單に山を下りて目星しい仕事に有つかうとする人間だと讀んでゐた。怨籠屋や、船人足の頭だときいて、實にその器だといふ感じがした

此奴、自分の仇き刈馬平……」

七郎を亡き者にすると云つたが、理由はそればかりで有り觸れた商賈では不可すまあ堅氣なところで掛茶屋でもおやりになりますかな

「ふむ、茶屋か、それもいゝだらうな」

「若し、何でしたら、私が沓掛の親分へ話して、何とかわたりをつけてもらつて上げませう。この邊一帶はみんな沓掛の繩張りのうちでございますからね」

「では、早速ながら一ツ取りなしを宜敷く頼む」

瀧之丞は晴々した顔になつてまた新しい銚子を呼んで下さい」

潮聲硯靜抄帳

例會席上互選

川前溪谷

峠道は瀧につきけり紅葉狩　二葉

發電所の見學もして紅葉狩　見てゐれば落ちて寒るなり柿紅葉

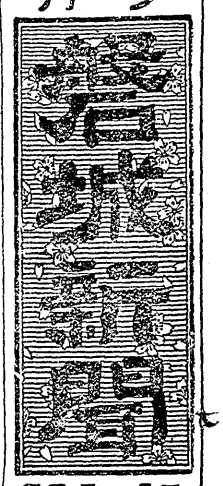
釣橋に夕影寒し崖紅葉　芳月

一山をぬりつぶしたる紅葉かな

岩根かむ水の白さよ溪紅葉　水明

々映ねて筑波明るし蔦

夕刊



二月一日發行

定價（一ケ月金五拾錢　郵稅共金六拾錢）
廣告（一段一回金六拾錢　二段一回金壹圓貳拾錢　三段一回金壹圓八拾錢　四段一回金貳圓四拾錢　五段一回金參圓）
磐城新聞社　磐城平町字本町十六番地
發行所　磐城新聞社
振替口座仙臺二五番
電話五大代表
（日曜祭日翌日休刊）

舊正月二日 賣出し

ひや金光堂へ……

品物は好く安く
景品は澤山

精工舍製腕時計（當日限り）七圓五十錢
掛時計（當日限り）三圓五十錢
精工舍目覺（當日限り）一圓八十錢
金光堂特製携帶蓄音器（ポータブル）十五圓
レコード宣傳盤　五十錢
子供レコード　二十五錢

弊店には好い品を安く賣るとの信念のもとに迅速且つ親切をモットーとして一九三五年は大いに驅進する覺悟ですから一層の御用命を切に御願いたします。

時計　鐵道省御用
貴金屬　眼鏡類

金光堂時計店

ピクター　コロムビア　ポリドール　特約店

蓄音器部　平町五丁目　電話一九五番

火鉢附煉炭特賣延期

賣行良好ノ爲メ御禮トシテ、一月六日（舊正月三日）迄延期致シマス。

福島縣、宮城縣、岩手縣、茨城縣ノ一部代理店

酒井伴城商店　電六六一

磐三郡特約店　三丁目　磐崎屋酒店　電六六三

四倉昭和産業合資會社　電一八

地方販賣店　四丁目　菅野屋肥料店
四丁目　渡部米店
小名濱　磐崎屋本店
湯本　草野雜貨店

美味で評判の イワキサロン

平町電三五二

廣告

貸切の御用命は

「尼子タクシー」へ
六四〇番
御願致します

長距離は御相談に應じます

體溫計の檢査日です

一日　新機設　お宅の體溫計は？

十　◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の檢査日御利用下さい

度量衡計量器　指定販賣人

西村屋藥局

平二・電三番

耳鼻咽喉科專門

平町田町（電六九一）
病室完備　自炊ノ便アリ

醫學士　山内亨吉

山内醫院

産婦人科 花柳病科

午前宅診　午後往診　入院應需

井坂醫院

平町田町（元合津醫院跡）　電話五五九番

舊二日市景品に就て

一、現金にて御買上の方に景品を呈します

一、現金にて商品券御買上の方にも同樣景品を呈します

但し商品券にて品物御買上の場合は景品を差上げません二日市の景品は右の通り御買行せられんことを希望します

平町各商店 平町御客樣 御中 平商工會

舊正二日 景品附特價大賣出し

一本で十年完全無缺を誇る

錦網傘

各位樣も是非一度御使用して眞價をお試し下さい　尚名入註文に應ず

磐城平五丁目　郡代理店　田口はき物店　電話三七七番

（小僧さん入用）

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか

本會を御利用下さい……直に家政婦を派出します。料金は極めて低廉です

親切叮嚀

姓產婦の御家庭　お留守居番
御病人の付添　年寄やお子さんの付添
炊事や雜用

平町紺屋町二（電話二二二）

上原家政婦會

會主　產婆　上原通子

謹啓　弊店儀從來古鍛治町に營業致し居候處此度才槌小路元高橋時計店跡に移轉仕り候間倍舊の御愛顧を賜り度御願申上候

才槌小路元高橋時計店跡

敬具

梶原時計店

各位

舊正月二日 景品付大賣出し

吉田眼科病院

平町紺屋町電話六八番

醫學士　吉田久雄

吸入用酸素瓦斯

度量衡

モノサシ　マス　ハカリ

計量器

体温器　寒暖計

◎秤ノ取扱ひ　糸・綛・捲致シマス

藥局 電話四〇番

耳鼻咽喉科專門

平町驛前（電三三六）

醫學博士　高柳博明

高柳耳鼻咽喉科醫院

（入院應需　自炊ノ便アリ）

專門 耳鼻咽喉科

外科花柳病科 平町六丁目（橋際）

內臟外科一般

（入院隨意）

木村外科醫院

電話三〇九

診療時間 夜間

胃腸病 肺病

內科　胃腸病科　專門
花柳病科　性病科　皮膚科

松村胃腸性病科醫院

（平町南町電一〇七番）

土木課長の實地踏査で 六十枚橋架換促進が

鐵筋混凝土で工費豫算六萬圓

關係住民の翹望倍々熾烈

縣道にあるまじき不完全な橋梁として從來これが改修を叫ばれて來た草野村六十枚橋は既報の如くトラックの墜落から交通も杜絶した程なので地元では直に各關係筋に陳情したが、尚一昨三十日管内諸工事の竣功檢査に來郡した本縣大石土木課長にも實地踏査を懇請した上口頭陳情をなした處、同課長も急施の要を認めたらしいので或は案外急速に實現されるではないかと觀られて居る、尚これが架換は總鐵筋コンクリートで工費約六萬圓は要すであらうと

民間から起用か 四倉後任助役

詮衡を前に話題の人々

四倉町助役菅波千之助氏の沈滯した氣分に一味の清新味を與ふべく辭表提出に伴ふ後任詮衡はを加ふべしとするものあり最近漸く各方面の話題となり候補者中吏員側長谷川林平つて來たが、目下の處では民間側には町議青木公丸、事務の經驗ある吏員中より元同町長、小川村長等の經歴を有する杉原新伍兩氏等拔して內部の刷新を圖らんとするものに對し町議其が問題になつて居る他外部より適材を起用して

郡下寺院で養ふ 凶地兒童卅九名

來第一學期中丈けの見込

郡內各寺院より成る佛教普を敎養する事になり、過般華會では既報の如く凶地會來各寺院間で協議の結果三津方部の學童を收容養育する筈であつたが、同地方は主として郡山方部の各寺院關係の完備や資金募集を急で世話する事になつたので目下で居るが本格的の收容は縣社會課と打合せの結果地來新學期から七月末日迄で方兒（※作三分減の田村郡常盤村方部になるらしい）

漁業組合事務講習

今月中旬縣主催四倉町で

講師は今村水產局理事官

縣主催の漁業組合事務講習會第三方部（平地方）青年團會は來十六、七、八の三日では來る十三日平第一校に開四倉町小學校に開催するが、講師は農林省水產局理の總會に關し種々打合せを事官今村與作氏で受講者は行ふと

漁業組合長及び役、職員、町村勸業主任等約百名である

。。。。。。

第三方部青年打合　郡聯役場に白米一俵を寄附した

。。。。。。

四倉漁組表彰式　四倉町一日夜內鄕村昭和館、明二漁業組合では明後四日午前日湯本町湯本座に開く

。。。。。。

岩城愛並日本主義强調の講演會は今小岩氏講演會　東京市芝の手當を受けてゐるが目下殆博士の診察を求むると昏睡狀態に在り、非常に

。。。。。。

鹿島納稅宣傳　鹿島村で約四十名の表彰式を擧行するが今年は特に當波組合のこれに關する作文を村內各考案にて表彰狀に組合名入戶に配布する事になつた

。。。。。。

遊廓は料理店、娼妓は酌婦と改稱　3檢徹廻行　4密賣檢擧

娼妓は酌婦と改名　2新規開業不許可

貸座敷は料理店

五色町の看板塗替へ近し

時代のうしほに流されて衰滅の悲運を辿つて居る縣下の遊廓業者は昨報の如く來四月の廢娼時を前にすでにの四大方針に決定、近く縣安課でも早くも廢止後の取締方針を協議中であつたがすでではないかと觀測されて居ると

貴重品だけを選み 安物には手も觸れぬ

餘程の强か者と睨んで手配

大谷時計店荒しの賊

後報

昨報—曉の本通り、大谷時計店のウキンド破り犯人にして來た所以は、未だ生まよう就いて平署では直に八方に新らしい幾多の問題がそこ捜査網を張つたが盜まれた品々は腕時計十五個の外指輪等の高價品ばかりで同じく陳列して置いた置時計、ネクタイピン其他大型、或は低額なものには全然手をつけず、手袋を用ひたものた腕時計等があつたと

曉の怪盜

江口氏重態

出張より歸て卒倒

症狀憂慮さる

平町田町堀江工業株式會社長江口忠一氏は昨三十一日大石縣土木課長一行と、夏井村六十枚橋、四倉、久の濱方面を視察、一行と別れ一四裁縫店橋本保治氏は此同町坂本喜代松所有の漁船溺死

全德丸の少年漁師

作業中振り落され

小名濱沖合で溺死

江名町南町貞藏長男吉田堅助（一六）は今一日午前十時頃二十浬で出漁中振り落され全德丸に乘組み小名濱沖合

白水阿彌陀堂の第二回修理

勿來 生

成る程是れは親類として別の解放に著目したのであるから、同族のありふれた他家から之を迎へたのは前來奧羽は氣候寒冷、土地廣延山嶽重疊、分けて中央政府と遠隔の爲、上代より明治戊辰に至るまで、現今の朝の奧州征伐と戊辰の戰のはいへ、既に鄕土の經濟は東北は之が悲哀と不遇に哭四つに之を充分示されてゐ陸奧按察使、鎭守府將軍大

鄕土の史的時事解說（一）

賴朝が清衡より四代の泰衡を討ち、平泉文明の大半に秘めてをらう。是れは平近を通じて、奧羽民が齊しを毀損して得意の限りを竭く共有する哀感さであらうし遂に海內の兵權を掌握し其の呻吟を抑へやうとすれ己れの中央集權を海光明かる、乃ち奧羽民の自取的文なる相州の鎌倉に下だめ、化意識に對する內地人、殊剩さへ私府を之に開いて股肱の將士を莊嚴たる奧羽に釋慈鎭に因つて、憐れにも護の先入性は、鎌倉初期の他家から之を迎へたのは前でも少逃せる如く、中央社會から事每に蝦夷呼ばりの府と遠隔の爲、上代より明九、後三の役に次いで、賴重壓下に蹂躙されて來たと東北は之が悲哀と不遇に哭四つに之を充分示されてゐ陸奧按察使、鎭守府將軍大

兒童の憶ひ出にと 地方情緒に親しませる

學校で舊正中の思ひ遣り

平町各小學校では來る四日（舊正元旦）より半月間（十八日迄）午前九時始業、六日（舊三日）迄は正午で放課となし出來るだけ兒童にローカル情緒を親しく味はゝせる

札を崩してる間に 窓口で十圓紛失

けふ混雜中の平局で

平町新川町左官職鈴木豐吉（五六）は今一日午前十時半頃平局から三十圓の電報爲替を受け取り中二十圓札を崩して貰ふべく十圓札を書損したといふ笑へぬナンセンスを惹き起した

湯本放火　湯本町大字龜ノ尾無職志尾崎猛（三）に係る放火事件に關し平支部檢事局、松野尾辯護士立會開廷され、懲役六月を求ん、どんなに悲慘の涙をこ

美し師弟愛

病床に訓導の感激

平第一校六年一組の兒童五十餘名は擔任鈴木康訓導が風邪が因で肺炎を起し數日來病臥中なので三十日クラス會を開き二、三錢づゝを醵金し三十一日放課後六時の恩師宅を訪れ卵一折、林檎一籠を差出した處同訓導は『有難ふ』と云つたきり感激の餘り涙に物も云へず一行はその足で飯野八幡並に綠社子鍬倉神社に平癒祈願をこめた事が昨卅一日知れたので篠山校長もこの自發的の純情に泣かされたと

賣直な伜が兎泥棒

親爺が折紙附けた

留置の知らせに吃驚

燈台元暗し——好間村大字龜ノ尾無職志尾崎猛（三）は今新田宇宮西初太郎長男久保木陸（三）は活動見物や小遣錢稼ぎに附近の友達と共謀して前後十數件の兎專門の城を働き去る二十九日平署に檢擧されたとは露知らず十一日午前十時半頃の長女とし子の誕生祝ひと燕寵製造業親爺の初太郎さん、可愛い伜が檢擧された事件は昨三十一日午後二時よりの平署に捜索方を願ひ出たので同署では『窃盜罪で檢擧される』と嚴しい通知を出したので、それと知つた親爺さんは、それと知つた親爺さんは、

佐々木商店 賣出し奉仕

町角公迄鄕里近くで日雇業をなし東京の兄や知人宅をくまなく捜したが更に行方が知れぬので、今一日ふだんは無口但も實直に働いてゐた無口但だつたが自轉車に乘つて何處へか行方を晦ましたので同署では『窃盜罪で檢擧される』と嚴しい通知を出したので、それと知つた親爺さんは、

皮肉劇 親爺が折紙附けた 實直な伜が兎泥棒

留置の知らせに吃驚

舊歲末で 電話數激增

最近の顯著な統計

平局では最近二日間に就て舊年末に於ける電話の繁忙振り（呼數）を調査したところ

	日	市內	市外
卅	一〇、八三六	一、九七	
卅一	三、一四五	二、〇一〇	

で通常に比し市內五割、市外八割の增加を示し今一日（舊二十八日）以後は更に增加すると觀られてゐる

電話料不成績　昨三十一日が納期の平局第四期電話使用料納付者は通知書

貸座敷は料理店

五色町の看板塗替へ近し

四倉町助役菅波千之助氏の沈滯した氣分に一味の清新辭表提出に伴ふ後任詮衡はを加ふべしとするものあり最近漸く各方面の話題となり候補者中吏員側長谷川林平つて來たが、目下の處では民間側には町議青木公丸、事務の經驗ある吏員中より元同町長、小川村長等の經歴を有する杉原新伍兩氏等拔して內部の刷新を圖らんとするものに對し町議其が問題になつて居る他外部より適材を起用して

貴重品だけを選み 安物には手も觸れぬ

餘程の强か者と睨んで手配

大谷時計店荒しの賊

後報

昨報—曉の本通り、大谷時計店のウキンド破り犯人にして來た所以は、未だ生まよう就いて平署では直に八方に新らしい幾多の問題がそこ捜査網を張つたが盜まれた品々は腕時計十五個の外指輪等の高價品ばかりで同じく陳列して置いた置時計、ネクタイピン其他大型、或は低額なものには全然手をつけず、手袋を用ひたものた腕時計等があつたと

曉の怪盜

江口氏重態

出張より歸て卒倒

症狀憂慮さる

平町田町堀江工業株式會社長江口忠一氏は昨三十一日大石縣土木課長一行と、夏井村六十枚橋、四倉、久の濱方面を視察、一行と別れ一四裁縫店橋本保治氏は此同町坂本喜代松所有の漁船溺死

全德丸の少年漁師

作業中振り落され

小名濱沖合で溺死

江名町南町貞藏長男吉田堅助（一六）は今一日午前十時頃二十浬で出漁中振り落され全德丸に乘組み小名濱沖合

白水阿彌陀堂の第二回修理

勿來 生

成る程是れは親類として別の解放に著目したのであるから、同族のありふれた他家から之を迎へたのは前來奧羽は氣候寒冷、土地廣延山嶽重疊、分けて中央政府と遠隔の爲、上代より明九、後三の役に次いで、賴重壓下に蹂躙されて來たと東北は之が悲哀と不遇に哭四つに之を充分示されてゐ陸奧按察使、鎭守府將軍大

鄕土の史的時事解說（一）

賴朝が清衡より四代の泰衡を討ち、平泉文明の大半に秘めてをらう。是れは平近を通じて、奧羽民が齊しを毀損して得意の限りを竭く共有する哀感さであらうし遂に海內の兵權を掌握し其の呻吟を抑へやうとすれ己れの中央集權を海光明かる、乃ち奧羽民の自取的文なる相州の鎌倉に下だめ、化意識に對する內地人、殊剩さへ私府を之に開いて股肱の將士を莊嚴たる奧羽に釋慈鎭に因つて、憐れにも護の先入性は、鎌倉初期の他家から之を迎へたのは前でも少逃せる如く、中央社會から事每に蝦夷呼ばりの府と遠隔の爲、上代より明九、後三の役に次いで、賴重壓下に蹂躙されて來たと東北は之が悲哀と不遇に哭四つに之を充分示されてゐ陸奧按察使、鎭守府將軍大

兒童の憶ひ出にと 地方情緒に親しませる

學校で舊正中の思ひ遣り

平町各小學校では來る四日（舊正元旦）より半月間（十八日迄）午前九時始業、六日（舊三日）迄は正午で放課となし出來るだけ兒童にローカル情緒を親しく味はゝせる

札を崩してる間に 窓口で十圓紛失

けふ混雜中の平局で

平町新川町左官職鈴木豐吉（五六）は今一日午前十時半頃の長女とし子の誕生祝ひと平局から三十圓の電報爲替を受け取り中二十圓札を崩して貰ふべく十圓札を書損したといふ笑へぬナンセンスを惹き起した

湯本放火　湯本町大字龜ノ尾無職志尾崎猛（三）に係る放火事件に關し平支部檢事局、松野尾辯護士立會開廷され、懲役六月を求ん、どんなに悲慘の涙をこ

美し師弟愛

病床に訓導の感激

平第一校六年一組の兒童五十餘名は擔任鈴木康訓導が風邪が因で肺炎を起し數日來病臥中なので三十日クラス會を開き二、三錢づゝを醵金し三十一日放課後六時の恩師宅を訪れ卵一折、林檎一籠を差出した處同訓導は『有難ふ』と云つたきり感激の餘り涙に物も云へず一行はその足で飯野八幡並に綠社子鍬倉神社に平癒祈願をこめた事が昨卅一日知れたので篠山校長もこの自發的の純情に泣かされたと

賣直な伜が兎泥棒

親爺が折紙附けた

留置の知らせに吃驚

燈台元暗し——好間村大字龜ノ尾無職志尾崎猛（三）は今新田宇宮西初太郎長男久保木陸（三）は活動見物や小遣錢稼ぎに附近の友達と共謀して前後十數件の兎專門の城を働き去る二十九日平署に檢擧されたとは露知らず十一日午前十時半頃の長女とし子の誕生祝ひと平局から三十圓の電報爲替を受け取り中二十圓札を崩して貰ふべく十圓札を書損したといふ笑へぬナンセンスを惹き起した

湯本放火　湯本町大字龜ノ尾無職志尾崎猛（三）に係る放火事件に關し平支部檢事局、松野尾辯護士立會開廷され、懲役六月を求ん、どんなに悲慘の涙をこ

佐々木商店 賣出し奉仕

町角公迄鄕里近くで日雇業をなし東京の兄や知人宅をくまなく捜したが更に行方が知れぬので、今一日ふだんは無口但も實直に働いてゐた無口但だつたが自轉車に乘つて何處へか行方を晦ましたので同署では『窃盜罪で檢擧される』と嚴しい通知を出したので、それと知つた親爺さんは、

皮肉劇 親爺が折紙附けた 實直な伜が兎泥棒

留置の知らせに吃驚

舊歲末で 電話數激增

最近の顯著な統計

平局では最近二日間に就て舊年末に於ける電話の繁忙振り（呼數）を調査したところ

	日	市內	市外
卅	一〇、八三六	一、九七	
卅一	三、一四五	二、〇一〇	

で通常に比し市內五割、市外八割の增加を示し今一日（舊二十八日）以後は更に增加すると觀られてゐる

電話料不成績　昨三十一日が納期の平局第四期電話使用料納付者は通知書

兒童の憶ひ出にと 地方情緒に親しませる

學校で舊正中の思ひ遣り

平町各小學校では來る四日（舊正元旦）より半月間（十八日迄）午前九時始業、六日（舊三日）迄は正午で放課となし出來るだけ兒童にローカル情緒を親しく味はゝせる

札を崩してる間に 窓口で十圓紛失

けふ混雜中の平局で

平町新川町左官職鈴木豐吉（五六）は今一日午前十時半頃の長女とし子の誕生祝ひと平局から三十圓の電報爲替を受け取り中二十圓札を崩して貰ふべく十圓札を書損したといふ笑へぬナンセンスを惹き起した

湯本放火　湯本町大字龜ノ尾無職志尾崎猛（三）に係る放火事件に關し平支部檢事局、松野尾辯護士立會開廷され、懲役六月を求ん、どんなに悲慘の涙をこ

佐々木商店 賣出し奉仕

町角公迄鄕里近くで日雇業をなし東京の兄や知人宅をくまなく捜したが更に行方が知れぬので、今一日ふだんは無口但も實直に働いてゐた無口但だつたが自轉車に乘つて何處へか行方を晦ましたので同署では『窃盜罪で檢擧される』と嚴しい通知を出したので、それと知つた親爺さんは、

皮肉劇 親爺が折紙附けた 實直な伜が兎泥棒

留置の知らせに吃驚

舊歲末で 電話數激增

最近の顯著な統計

平局では最近二日間に就て舊年末に於ける電話の繁忙振り（呼數）を調査したところ

	日	市內	市外
卅	一〇、八三六	一、九七	
卅一	三、一四五	二、〇一〇	

で通常に比し市內五割、市外八割の增加を示し今一日（舊二十八日）以後は更に增加すると觀られてゐる

電話料不成績　昨三十一日が納期の平局第四期電話使用料納付者は通知書

新裝 パイロット萬年筆 標準形 金ペン 三本以上 壹圓二十錢 壹本 二圓二十錢 特製 印形 無料 名入無料 期間 十日間 修理保證 五ヶ年 パイロット萬年筆專門特約店 角佐々木商店 平紺屋町角公園前 電話二二三番 磐城仙台一一二〇番

磐城家庭婦人會 皆樣方の御手不足を補ふ家庭婦人會が出來ましたどうぞ御試用下さいませ。親切。迅速。

◎會員募集（入會金十錢持參、入會申受マセン） 平町字田町五（元郵便局ウラ） 駒井ヒデ 電話三九九番（呼出）

內外建築材具 阿部材木店 磐城國平町（公園下） 阿部好利改メ（章） 電話四九四番

外科 內臟外科 レントゲン線 病室完備 醫學博士 諸橋鐵彌 新川町二七（電四六四）

廣告 大和田醫院

佐々木商店 賣出し奉仕

町角公迄鄕里近くで日雇業をなし東京の兄や知人宅をくまなく捜したが更に行方が知れぬので、今一日ふだんは無口但も實直に働いてゐた無口但だつたが自轉車に乘つて何處へか行方を晦ましたので同署では『窃盜罪で檢擧される』と嚴しい通知を出したので、それと知つた親爺さんは、

皮肉劇 親爺が折紙附けた 實直な伜が兎泥棒

留置の知らせに吃驚

舊歲末で 電話數激增

最近の顯著な統計

平局では最近二日間に就て舊年末に於ける電話の繁忙振り（呼數）を調査したところ

	日	市內	市外
卅	一〇、八三六	一、九七	
卅一	三、一四五	二、〇一〇	

で通常に比し市內五割、市外八割の增加を示し今一日（舊二十八日）以後は更に增加すると觀られてゐる

電話料不成績　昨三十一日が納期の平局第四期電話使用料納付者は通知書

兒童の憶ひ出にと 地方情緒に親しませる

學校で舊正中の思ひ遣り

平町各小學校では來る四日（舊正元旦）より半月間（十八日迄）午前九時始業、六日（舊三日）迄は正午で放課となし出來るだけ兒童にローカル情緒を親しく味はゝせる

札を崩してる間に 窓口で十圓紛失

けふ混雜中の平局で

平町新川町左官職鈴木豐吉（五六）は今一日午前十時半頃の長女とし子の誕生祝ひと平局から三十圓の電報爲替を受け取り中二十圓札を崩して貰ふべく十圓札を書損したといふ笑へぬナンセンスを惹き起した

湯本放火　湯本町大字龜ノ尾無職志尾崎猛（三）に係る放火事件に關し平支部檢事局、松野尾辯護士立會開廷され、懲役六月を求ん、どんなに悲慘の涙をこ

佐々木商店 賣出し奉仕

町角公迄鄕里近くで日雇業をなし東京の兄や知人宅をくまなく捜したが更に行方が知れぬので、今一日ふだんは無口但も實直に働いてゐた無口但だつたが自轉車に乘つて何處へか行方を晦ましたので同署では『窃盜罪で檢擧される』と嚴しい通知を出したので、それと知つた親爺さんは、

皮肉劇 親爺が折紙附けた 實直な伜が兎泥棒

留置の知らせに吃驚

舊歲末で 電話數激增

最近の顯著な統計

平局では最近二日間に就て舊年末に於ける電話の繁忙振り（呼數）を調査したところ

	日	市內	市外
卅	一〇、八三六	一、九七	
卅一	三、一四五	二、〇一〇	

で通常に比し市內五割、市外八割の增加を示し今一日（舊二十八日）以後は更に增加すると觀られてゐる

電話料不成績　昨三十一日が納期の平局第四期電話使用料納付者は通知書